



生徒指導便り

平成31年4月26日

第1号

発行：津幡南中学校

文責：生徒指導部

◇新年度が始まりました！

新1年生が入学してから約1ヶ月が過ぎようとしています。多くの生徒が前向きな気持ちで、学習、部活動、係・当番・委員会活動にさらに頑張ろうという気持ちが表情や行動に表れています。今年度も保護者・地域の皆さんと学校とで子どもたちを育てていきたいと思ひます。本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願ひします。

◇シューズをそろえています！

南中の伝統の1つである「履き物を揃える！」が新1年生にも受け継がれています。履き物が揃えば心が揃い（整い）ます。「そろえる」という行いを習慣にして、心を磨いてほしいです。



◇黙々と清掃に取り組んでいます。

南中では『無言清掃』に取り組んでいます。使っている場所に対して感謝する気持ち、しゃべりたくても我慢する気持ち、汚れているところに気づき、進んできれいにしようという姿勢を養う目的で行っています。まだ、完全に実施できているとは言えませんが、多くの生徒が黙々と清掃に取り組んでいます。

<きちんと揃えられた1年生の下足箱>



（きれいに雑巾がかけられています！）



<一生懸命に雑巾がけをしています！> <TVの周りもきれいにしています！>

◇5月の生活目標

TPOを考えた言葉遣いを意識しよう！

あいさつ・返事・言葉遣いを徹底しよう

「あいさつ」や「返事」を含め、正しい「言葉遣い」を意識してほしいと思ひます。あいさつは「心と心をつなぐ架け橋」とも言われます。自分からあいさつし、きちんとあいさつを返し、礼儀正しい行動ができることを期待します。



<きちんと並んで反省会をしています！>

出会った人に対し、敬意を表し、きちんと目を見て、大きな声で、語尾まではっきりと、さわやかなあいさつをしましょう。また、呼ばれたら返事をすることや、敬語を正しく使うことは人間関係を良好にするためのマナーです。使う言葉によってその人はどんな人であるかを推し量ることができるくらい、言葉には力があるのです。正しい言葉を使える人間になってほしいと思います。

◇「津幡南いじめ撲滅宣言」

津幡南いじめ撲滅宣言

- 第一条 互いに認め合い、思いやる心を持ちます
- 第二条 傍観者ではなく、注意ができる人になります
- 第三条 自分がされて嫌なことはしません
- 第四条 相手のことを考えて行動します
- 第五条 いじめのない笑顔あふれる学校にします

(平成27年5月1日策定)

南中では平成27年に全校生徒がいじめについて話し合い、全校生徒のみんなが安心して、楽しく学校生活を送れるように「いじめ撲滅宣言」を策定しました。

よりよい人間関係を構築する上で必要な「心のスキル」の1つに「相手を認める」ということがあります。相手のことをいかに自分のこととして考えるかが大切です。先輩方の思いを受け継ぎ、笑顔あふれる南中にしていきましょう。

◇部活動正式入部！

22日(月)には部活動の組織会がありました。新1年生も加わって、いよいよ部活動の新体制でのスタートです。1、2、3年生が同じ目標に向かって、一致団結して頑張りましょう。津幡南中学校のよき伝統を受け継ぎ、さらに新しい伝統を創り、『光り輝く校風』を実現しましょう。

【津幡南中学校の部活動のねらい】

- ・学年・学級の枠を超え、生徒自身が自分の特技や興味に対し、努力をしながら自己を高めようと活動する中で自主性を養う。
- ・顧問の基本的な指導観を確立し、キャプテン(部長)を中心として部員が協力・助け合いながら活動を運営する中で協調性を養う。
- ・あいさつや活動場所の整頓などを徹底し活動することで社会性を養う。

◇まもなく10連休！

4月下旬から大型連休に入ります。各部活動でも、大会や大会補助員、練習試合が予定されています。移動手段に関しては、顧問の先生の指示に従い、交通ルール・公共のマナーを守り、安全に留意して移動してください。また、部活動以外でも連休中は外出する機会が多くなるかもしれません。以下のことに注意して有意義な連休にしましょう。

- ・自転車で外出する際は、交通ルールをしっかりと守り、安全に運転しましょう。
- ・映画館やボーリング場、カラオケボックス、ゲームセンター、アミューズメントコーナー、レンタルビデオ店、飲食店、喫茶店等には子ども同士で出入りしてはいけません。また、デパート、スーパー、ショッピングセンター、繁華街等へは、用事がないのに行ってはいけません。
- ・不審者に出会ったら、逃げたり、大声をあげて助けを求めたりしましょう。その後できるだけ早く警察に通報し、学校にも連絡してください。
- ・進んで家の手伝いをし、子供会や公民館等の行事には、積極的に参加しましょう。